

第3回町議会定例会

# 一般会計補正予算など

## 11議案を原案どおり可決

第3回町議会定例会は、12月5日(金)に招集され7日間の会期を1日繰り上げて10日(火)に閉会しました。この定例会では、総額2,100万円の減額となる一般会計補正予算など11の議案が原案どおり可決されました。

町立保育所分園設置事業に1,400万円

一般会計の補正予算の主な内容は、町立保育所分園設置事業費に1,400万円が増額されました。これは、保育所への入所希望者が増加して

いることから、今年度、町では、定員を115人から140人に増員しましたが、12月現在では、定員を超える151人が入所しており、待機児童も14人を数えております。このような状況から、待機児童を解消し、小さいお子さんを持つ親が、安心して仕事ができる環境を整えるため、現在の鏡石保健センターを改修して、保育所分園を設置する予定です。

その他、笠石の側溝補修工事費に700万円の増額、鳥



鏡石保健センター

見山陸上競技場のトラック修理費に600万円の増額などとなっております。

また、人事院勧告等による町長などの特別職、職員の給料などの減額が決定されました。

この減額については、11月28日(金)に開かれた第2回町議会臨時会において、町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例、「職員員の給与に関する条例の一部を改正する条例」などが議決されたことを受けたものです。長引く景気低迷や、厳しい経済状況を考慮し、特別職については、昨年に引き続き月額5%の給料が減額されます。期間は、平成16年12月31日までの1年間となっております。



12月町議会定例会

### 町長所信表明(要旨)

我が国の経済は、設備投資の増加や企業収益の改善が続くなど回復基調にあるもののその足取りは未だに堅実と言えるものではありません。

このような経済状況の中、町商業の中核的役割をはたしてきたサンアイショッピングセンターが店舗を閉鎖し、現在、組合員が営業再開に取り組んでいるところなどで、町といたしましては、商工会等関係機関と連携し出来る限り支援したいと考えています。

市町村合併について、町では、町民アンケート調査などを行い、町民の方からの多くの意見や提言

を検討してまいりました。その結果、合併については、合併特例法の期限内にこだわらず、当面地域の特性、優位性を生かしたまちづくりを目指す考えであります。その要因としては、本町は、多くの自治体が人口減少で悩んでいる中で高齢化率も低く、出生数も増加するなど人口増が予想されるなどの点があげられます。

鏡石中学校女子駅伝並びにふくしま駅伝については、10月に開催された県中学校駅伝競走大会に出場した鏡石中学校女子駅伝チームは、見事優勝を果たし4年連続の全国大会出場を成し遂げました。また、ふくしま駅伝では、町の部で区間賞に2人が輝くなど、選手全員がたすきを繋ぎ総合16位、町の部で8位と7年連続の入賞を果たしまし

た。選手のみならず、沿道で声援いただいた町民の皆様に感謝申し上げます。

次に、主要事業の執行状況につきましては、駅東第1土地区画整理事業は、住宅の物件移転補償について、11月末で移転を完了し、中学校南側の交差点改良工事の着手準備をしているところであります。

地域振興事業として、9月28日に町の最大のイベントとして、国際化オランダ祭り」と、牧場の朝YOSAKOI祭りが開催され、町は祭り一色になりました。当日は、天候にも恵まれ町内外から多くの観客が訪れました。

その他、介護保険事業、健康推進事業なども、順調に推移しております。

# おめでとう 全国大会5位入賞

## 全国中学校駅伝大会



見事5位入賞を果たした選手のみなさん(左から 沼選手、鈴木選手、大河原選手、面川選手、小松選手)と近藤監督



1区を走る 沼選手

### 全選手が好走

第11回全国中学校駅伝大会は、12月21日(日)、千葉県県昭和の森特設コースで行われました。福島県代表として4年連続で出場した鏡石中学校女子駅伝チームは、これまでで最高の成績となる5位、3年連続入賞という輝かしい記録を達成しました。

大会は、各都道府県代表の男女48チーム(開催県は2チーム)が参加し、男子は6区間18、女子は5区間12で競い合いました。

レース展開は、1区を走る沼志帆選手(2年)が各チームのエースの出揃うなか、後半に力を温存する作戦が功を奏し、区間5位でタスキを渡す好スタートを切りました。

### 全国大会を経験して

近藤仁一監督

昨年からメンバーが変わり、一つでも上の順位にという目標を取り組んできました。目標タイムどおりの試合運びができました。この結果は選手

だけでなく、サポートしてくれたみなさんのおかげだと思います。

1区 沼志帆選手(2年) トップバッターなので緊張しましたが、チームのみんなが応援に来てくれたのでリラックスして走れました。個人・チームの成績とも満足しています。

2区 鈴木慎選手(2年) とにかくタスキを受けたあとは、目の前の選手を抜こうと思ひ必死で走りました。ラストで抜かれそうになりましたが、気合いで頑張りました。

3区 大河原菜摘選手(1年) 順位を一つ落としてしまい大変悔しかったです。この思いを来年の全国大会でぶつけたいと思います。

4区 面川絵美選手(3年) このチームでの最後の大会に5位入賞できてうれしかったです。個人的には、最後の大会にふさわしい走りができ良かったと思います。

5区 小松仁美選手(3年) 目の前を走る選手を抜くことができず残念でした。チームの5位の成績には大変満足しています。